

平成21年度(平成20年度実施)

評価施策名	2 鉄道をさらに便利にする	施策CD	32	施策主管課	企画推進課	課長名	市原 丞
政策名	第3章 人・物・情報を高度につなげる			施策関係課	都市計画課 八木産業建設課 日吉地域総務課		

【施策の概要】

1 南丹市が考える理想(目的)

○流入人口や定住人口を増やし、活気のあるまちづくりを進める。

	目標項目(成果)	単位	H20		H21	H24
			目標値	実績値	目標値	目標値
市内JR各駅の1日の乗降客数(前年度実績)	人/日	15,000	14,186	15,000	18,000	

1 南丹市の現状(課題)

○毎時3-4本の運転がありながら、昼間のみならず夕方ものラッシュ時にさえ30分近くも列車間隔が空く時間帯があり、不均衡なダイヤとなっていることから、大都市圏の都市交通の機能を担うには満足な運行形態とはなっていない。
○ただし利用者については、平成台の分譲開始や学生の増加等に伴い、ここ近年わずかではあるものの増えている状況にある。

(現状)
・市内各駅の1日平均利用者(乗降者)数合計
平成12年 平成13年 平成14年 平成15年 平成16年 平成17年 平成18年
14,197人 14,340人 14,340人 14,663人 14,849人 14,529人 15,581人

3 それ何故おきたのか

○住民の移動手段が、鉄道主体からマイカーへと移り変わるとともに、旧国鉄時代はあくまでも長距離特急や長距離普通列車を中心に運行され、京都近郊の通勤通学需要がほとんど考慮されていなかったため。

2 対策をしなければどうなるのか

○京都市内や大阪市内で就学または就職する人が、京都市内や大阪市内またはその近郊に居住の拠点を移し、南丹市の居住者人口は減少してゆく。
○定期交通が確保されないことから、観光客が減少する。
○その結果、南丹市の活力は失われる。

4 それらを解決するために何をするのか

- ①鉄道利用者を増加させる。
- ・JR山陰本線の複線化促進
 - ・園部駅以北の利便性向上に関する活動
 - ・公共交通ターミナルの機能強化
 - ・駅周辺の環境美化の推進
 - ・鉄道利用の利便性向上
 - ・鉄道利用客の増加に関する様々な取り組みの実施

【施策コスト】(評価対象事業の合計)

項目	単位	H19決算	H20決算	H21予算	H22計画
決算額(計画額)	千円	449,460	465,079	420,485	34,178
職員給与費、共済費等	千円	4,265	4,284	4,343	0
財源内訳					
使用料・手数料	千円	19,879	19,189	19,872	19,872
国・府支出金	千円	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
一般財源	千円	429,581	445,890	400,613	14,306
職員従事人数	人・年	-	4.91	-	-
人件費	千円	-	17,243	-	-
事業費総額	千円	-	478,038	-	-

【構成する事業】

会計CD	事業CD	事業名(細事業名)	担当課	決算額(千円)
102110	7000	山陰本線複線化整備事業	企画推進課	431,835
108406	1010	都市整備事業(園部駅周辺維持管理・整備事業)	都市計画課	5,348
102110	5030	駅関連施設管理運営費(胡麻コミュニティセンター管理運営費)	日吉地域総務課	4,057
108406	1020	都市整備事業(園部駅西口自転車等駐車場事業)	都市計画課	13,725
108406	1040	都市整備事業(八木駅前駐輪場事業)	八木産業建設課	1,046
102110	5020	駅関連施設管理運営費(日吉駅交流センター管理運営費)	日吉地域総務課	6,638
108401	6000	放置自転車等対策事業	都市計画課	61
102110	5040	駅関連施設管理運営費(鍼灸大学前駅管理運営費)	日吉地域総務課	2,369

【総合評価】

- ①目標の達成状況
南丹市民の永年の念願であった、園部・京都間の複線化事業が平成21年度で完成する。未だ計画すらない園部・綾部間の複線化要望を促進強化していく必要がある。
- ②目標値や施策の考え方の見なおし
園部・京都間の複線化の完成に伴い、JR利用者増のために駅周辺整備も併せて進めてきたが、再度考え直す必要があると考える。
さらに、園部以南と以北の交通格差の解消策を併せて検討する必要がある。

【改善の方向性】

- ①今後の方向性
全国的に鉄道利用者が減少傾向にある中で、南丹市民の念願であった複線化事業の完成により、さらに鉄道利用を便利にするために駅周辺整備や駅関連施設の充実を図っていく必要がある。
- ②各事業の対応
・山陰本線複線化整備事業は園部・京都間は完成するが、園部以北の複線化促進を強化する必要がある。
・駅関連施設については、駅機能だけでなく複合施設として活用されている。更に活用を検討する必要がある。
又駐輪場については駅整備と密接な関係があり、併せて整備を検討する必要がある。

※評価の結果と経過